

American DJ®

FUSION FX BAR 3

取扱説明書

Ver. 1.01



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ FUSION FX BAR 3 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
FUSION FX BAR 3 は白色 LED ウォッシャーとピンスポットライトが一体となったエフェクト照明です。
サウンドアクティブモードやショーモードの他、DMX モードでの使用が可能です。
製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

特徴

- 白色 LED ウォッシャー/ピンスポットライト一体型エフェクト
- ストロボ機能
- サウンドアクティブ対応（本体にマイクを内蔵）
- ショーモード（内蔵プログラム）
- DMX-512 対応（8DMX チャンネル）
- UC3 コントローラー対応(別売)

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルが破損していないことを確認の上、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。また、アース端子は必ず接続してください。
3. 電源、電圧が正しい事を確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
4. ディマーパックからの電源供給によるご使用はお止めください。
5. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
6. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合、保証対象外となりますので予めご了承ください。
9. 本体は壁から15cm以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障が生じた場合は、お手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

システムメニュー

メニュー	選択画面	機能
Addr	1	DMX スタートアドレスの設定
	5 12	
SLNd	MASt	マスターモード
	SL 1	スレーブモード(ノーマル)
	SL 2	スレーブモード(2 Light Show)
ShNd	Sh 0	ランダムショー
	Sh 1	ショーモード 1~19
	.	
	Sh 19	
Ndnu	LEd 1	スポットライト 1 のテスト
	LEd 2	ウォッシャー1 のテスト
	LEd 3	スポットライト 2 のテスト
	LEd 4	ウォッシャー2 のテスト
	LEd 5	スポットライト 3 のテスト
	LEd 6	ウォッシャー3 のテスト
	LEd 7	スポットライト 4 のテスト
SOUn	on	サウンドアクティブモード ON
	off	サウンドアクティブモード OFF
bLNd	YES	ブラックアウト
	no	ブラックアウトの解除
LEd	on	ディスプレイの点灯
	off	ディスプレイの消灯
dISP	dISP	ディスプレイの正転
	dS IP	ディスプレイの反転
tEst		オートテスト
FhrS		灯体の稼動時間
ver		ソフトウェアのバージョン

操作方法

基本操作：メニューの設定は MENU ボタンを押して、UP/DOWN ボタンで機能の選択をし、ENTER ボタンを押してください。UP/DOWN ボタンで機能の調節をして、ENTER ボタンで決定します。ENTER ボタンを押さないまま 8 秒以上操作が行われない場合は、前回保存された設定に戻ります。調整を行わない場合は MENU ボタンを押してください。

Addr DMX アドレス設定

1. “Addr”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ディスプレイに DMX アドレスを表す数値が表示されます。UP/DOWN ボタンで任意の DMX アドレスを選択します。
3. ENTER ボタンを押して確定してください。

SLNd マスター/スレーブ設定

1. “SLNd”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “MASt”、“SL 1”、“SL 2”のいずれかが表示されます。“MASt”はマスターモード、“SL 1”及び“SL 2”はスレーブモードを表します。UP/DOWN ボタンでいずれかを選択します。
3. ENTER ボタンで確定してください。

※“SL 2”に設定した場合、マスター機と対称的な動作をします。

ShNd ショーモード

1. “ShNd”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “Sh X”(0-19 までの数字)が表示されます。“X”はプログラムナンバーを表します。1~19 はプリセットショー、0 はランダムショーです。UP/DOWN ボタンで任意のプログラムを選択します。
3. ENTER ボタンで確定してください。

manu マニュアルテスト

1. “manu”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. テストを行う機能を UP/DOWN ボタンで選択し、ENTER ボタンで決定します。
3. UP/DOWN ボタンを押して 0-255 の間で数値を調整し、ENTER ボタンで決定します。
4. 続けて他の機能をテストする時は、2~3 の手順を繰り返してください。元の画面に戻る時は MENU ボタンを押してください。

SOU_n サウンドアクティブモード

1. “SOU_n”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “on”(サウンドアクティブ ON)または“oFF”(サウンドアクティブ OFF)と表示されますので、UP/DOWN ボタンでいずれかを選択します。
3. ENTER ボタンで確定してください。

※サウンドアクティブ動作時のマイク感度は、本体背面のツマミで調整を行います。

blNd ブラックアウト設定

1. “blNd”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “yes”(ブラックアウト)または“no”(ブラックアウト解除)と表示されますので、UP/DOWN ボタンでいずれかを選択します。
3. ENTER ボタンを押しして確定してください。

Led ディスプレイの ON/OFF

1. “Led”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “on”(ディスプレイ点灯)または“oFF”(ディスプレイ消灯)と表示されますので、UP/DOWN ボタンでいずれかを選択してください。
3. ENTER ボタンを押しして確定してください。

dISP LED ディスプレイの反転

1. “disp”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ディスプレイを反転させるには ENTER ボタンを押してください。正転に戻す場合はもう一度 ENTER ボタンを押します。元の画面に戻る時は MENU ボタンを押してください。

test オートテスト

1. “test”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. 自動でテストが行われます。元の画面に戻る時は MENU ボタンを押してください。

FhrS 稼働時間

1. “FhrS”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. 灯体の稼働時間が表示されます。元の画面に戻る時は MENU ボタンを押してください。

ver バージョン情報

1. “ver”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。元の画面に戻る時は MENU ボタンを押してください。

DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。

1. FUSION FX BAR 3 と DMX コントローラーをデジタル XLR ケーブルで接続します。
2. DMX アドレスの設定を行います。
3. DMX 表と DMX コントローラーのマニュアルを参照して制御を行ってください。

- DMX 表 -

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 7	<u>マスターディマー/ストロボ</u>
	8 - 190	オフ
	191 - 200	マスターディマー 0-100%
	201 - 247	サウンドアクティブ
	248 - 255	ストロボ 遅 → 速 フルオン
2	0 - 255	<u>スポット 1 0-100%</u>
3	0 - 255	<u>ウォッシャー1 0-100%</u>
4	0 - 255	<u>スポット 2 0-100%</u>
5	0 - 255	<u>ウォッシャー2 0-100%</u>
6	0 - 255	<u>スポット 3 0-100%</u>
7	0 - 255	<u>ウォッシャー3 0-100%</u>
8	0 - 255	<u>スポット 4 0-100%</u>

※CH1 の値が 0-7 の時、LED は点灯しません。

※CH1 の値が 248-255 の時、CH2-8 は ON/OFF のみの制御となり、明るさの調整はできません。
※サウンドアクティブで動作させるためには、まず CH1 の値 191-200 の間に設定し、CH2-8 も同様に 191-200 の間に設定します。

UC3 コントロールモード

別売のコントローラーUC3により、以下の内容を遠隔操作することができます。

STAND BY	ブラックアウト (暗転)	
FUNCTION	1. 白色 LED ストロボ 2. スポット LED ストロボ	ショー 1-9
MODE	サウンドアクティブ (LED OFF)	ショー (LED ON)

電源ケーブルの直列接続について

本機は IEC インプット及びアウトプットソケットを通して他の FUSION FX BAR 3 と接続できます。
最大 18 台まで接続可能ですが、それ以上の台数をご使用の際は別途電源をご用意ください。
また、必ず同じ機材のみを接続するようにしてください。異なる機材を混ぜて接続することはできません。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

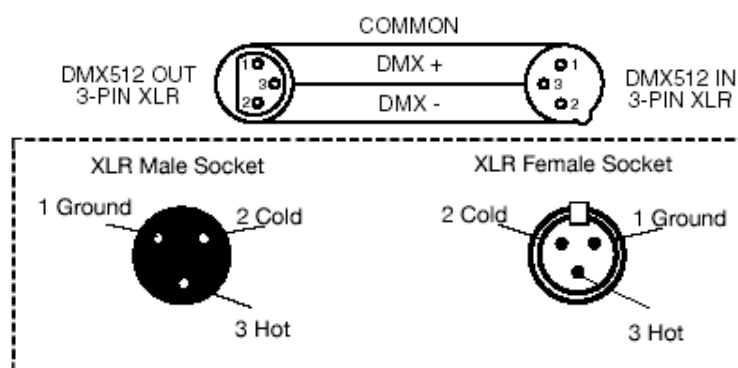
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は相関しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

FUSION FX BAR 3 は 8 チャンネルの DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

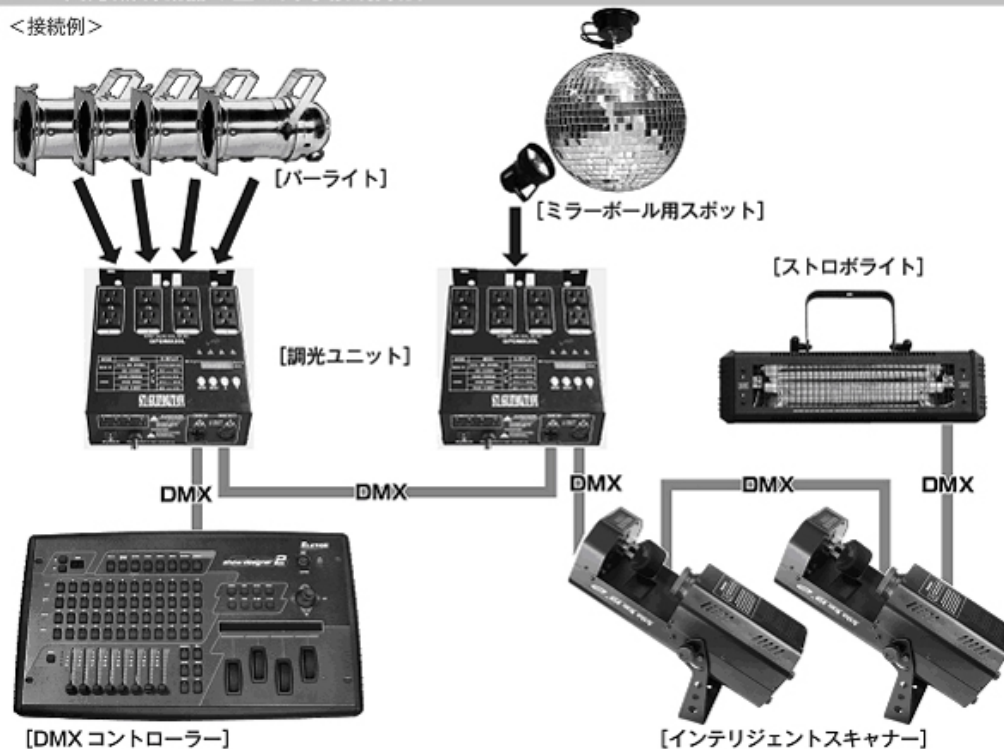


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクタの代わりに 5 ピン XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクタを FUSION FX BAR 3 に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。

※



・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。

・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
 <p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

ヒューズ交換

1. 電源ケーブルを本体から抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

メンテナンス方法

使用頻度、環境に応じたメンテナンスを行ってください。〈 〉内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は完全に乾かしてからご使用ください。

外側のカバー 〈一週間に一度〉

■カバーが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

信号ケーブル、電源ケーブル差込口 〈一ヶ月に一度〉

■差込口に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ 〈三ヶ月に一度〉

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・ 正しい電源・電圧に接続されているか・ 電源ケーブルが損傷していないか・ ヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">・ 接続に問題がないか・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか・ DMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">・ 小さい音や高音でないか・ マイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none">・ 接続された複数台の機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

製品仕様

LED	ウオッシャー :135 個(白色) ピンスポットライト : 3W LED *4 (白色)
DMX チャンネル数	8ch
消費電力	29W
ヒューズ	6.3A タイムラグ 20mm
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	53.8W × 26.3H × 14.3Dcm
重量	2.8kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

American DJ®